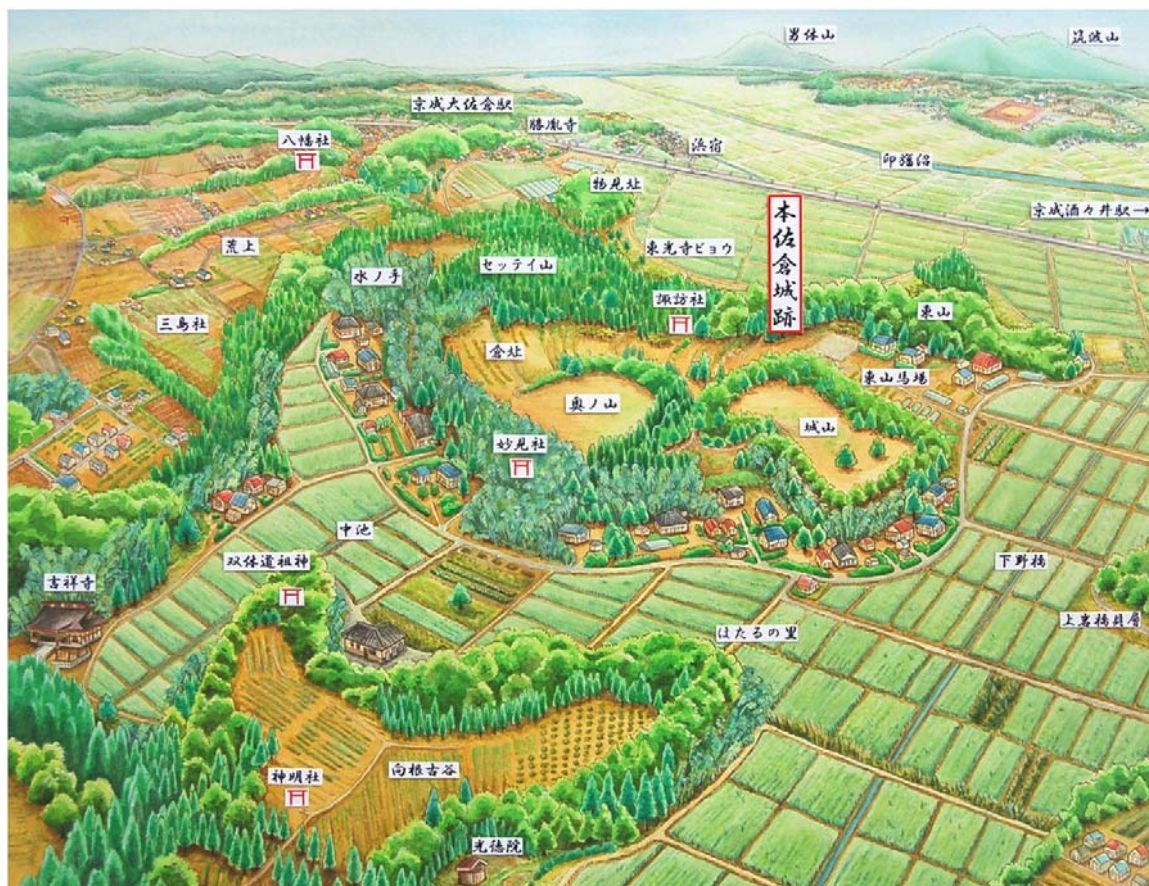


史跡へGO!  第1弾!

もとさくらじょうあと
国指定史跡「本佐倉城跡」(酒々井町・佐倉市)へ



行ってみよう!!



本佐倉城跡は、千葉輔胤（ちばすけたね）が
文明年間（1469～1486）に築城し、
天正18年（1590）に豊臣秀吉によって千葉氏が滅ぼされるまで
当主九代が居城しました。

下総の首府として栄えた城の規模は
東西約700m、南北約800m、約35haにもなります。
城を中心に町が広がり、「佐倉」「酒々井」「鹿島」「浜宿」の
4つの城下町がありました。

現在でも郭や馬場、虎口、空堀、土塁、櫓台などが良好に保存され、
平成10年9月11日に関東地方を代表する戦国時代の城跡として
国指定史跡となりました。

平成15年度から史跡公園として公開するための整備作業を進めています。





京成電鉄大佐倉駅から徒歩 10 分

本佐倉城跡の北側に広がる「東光寺ビヨウ」です。本佐倉城の正面玄関ともいえる場所で、通路跡が見つかっています。

京成大佐倉駅から徒歩で来た場合、最初に目に入る場所です。史跡の目の前を京成線が通り、車窓からこの景色を眺めたことのある人も多いのではないのでしょうか。

ちょうど成田から上野に向かうスカイライナーが通り過ぎていきました。

当時は、この水田のところ、史跡の目の前で印旛沼が広がっていました。



東光寺ビヨウから徒歩 5 分

「東山虎口」です。「虎口（こぐち）」は出入り口の意味です。背後の城山を敵から守るため、狭い通路となっています。

ビニールシートが被っているのが少し残念（整備中ですので）。

この迫力を、ぜひ間近で！！



東山虎口を、反対側から見たところ。通路の狭さがよくわかります。





東山虎口から徒歩5分

東山虎口を抜け、「東山馬場」、「倉跡」を横目に見ながらさらに進み、細い通路を上っていくと・・・



「城山（しろやま）」に着きました！

これまでの発掘調査で、大型の掘立柱建物跡が2棟発見されており千葉氏の主殿（しゅでん）や会所（かいしょ）と推測されています。その他に、庭跡や物見矢倉（ものみやぐら）跡なども見つかっています。

城山からは多数のカワラケ（粗製の器）が出土しているのでここで城主を中心とした宴会や儀礼が行われていたのかもしれないね！



城山からの眺めは抜群!!
周囲ののどかな風景を一望できます。







本佐倉城跡遠景

史跡の周辺には
千葉県指定天然記念物「上岩橋貝層」(酒々井町酒々井)、
酒々井町指定史跡「カンカンムロ横穴群」(酒々井町酒々井)、
などの文化財が点在しています。

印旛沼のほとりを舞台にした千葉氏興亡の歴史を
ぜひ現地で体感してみてください！
これからどんどん整備が進んでいきますので
どんな史跡公園として生まれ変わるのか、要チェックです！！

 **本佐倉城跡だけの見学なら約1時間、** 
周辺文化財も巡るなら約2時間のコースです。
※本佐倉城跡は整備中につき、一部**立入禁止**の区域があります。
ご了承ください。

【アクセス】

電車で：京成電鉄大佐倉駅から徒歩10分。
車で：東関東自動車道路佐倉インターから国道51号を
成田方面へ北上し、国道296号に入り佐倉方面に向いすぐ。



【ちょっと足をのばせば】

重要文化財「旧堀田家住宅」(佐倉市鏑木町)
千葉県指定史跡「佐倉順天堂」(佐倉市本町)
国登録文化財「千葉県立佐倉高等学校記念館」(佐倉市鍋山)